

プロジェクションマッピングの制作及び投影

評価手順書

2026年（令和8年）4月

航空自衛隊春日基地

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

本書は、航空自衛隊春日基地のプロジェクトンマッピングの制作及び投影係る評価手順について規定する。

## 2 落札方式及び得点配分

### 2.1 落札方式

次の要件を全て満たす者のうち、2.2の総合評価点が最も高い者を落札者とする。

- a) 入札価格が予定価格の範囲内であること。
- b) 応札資料作成要領の別添「技術評価項目一覧表」に記載される要件のうち、[評価区分] [必須] とされる [提案要求項目] (以下、「必須項目」という。) を全て満たしていること。

### 2.2 総合評価点の計算

$$\text{総合評価点} = \text{技術点} + \text{価格点}$$

$$\text{○技術点} = \text{基礎点} + \text{加点}$$

$$\text{○価格点} = \text{価格点の得点配分} \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格})$$

技術点は、応札資料作成要領の別添「技術評価項目一覧表」の [提案要求項目] ごとに各評価者が採点した基礎点と加点を合算したものの平均点 (小数点以下第3位を四捨五入とする。) を算定し、その合計点から算出。ただし、基礎点の対象となる要件が一つでも要求事項を満たしていない場合は、その応札者は不合格とする。

※基礎点…必須項目に設定される評価点

※加 点…「技術評価項目一覧表」に記載される要件のうち、[評価区分] が [任意] とされる [提案要求項目] に設定される評価点

※技術点の配分上限値は100点 (基礎点：70点、加点：30点)

※価格点の配分上限値は50点

## 3 評価の手続き

### 3.1 技術評価

技術点により技術評価を行う。

(技術点の評価方法は、後述の「4 技術点の評価方法」を参照のこと)。

### 3.2 総合評価

「3.1 技術評価」を通過した応札者について、総合評価点を算出し、最も高い応札者を落札者とする。

## 4 技術点の評価方法

### 4.1 評価項目における得点配分

応札資料作成要領の別添「技術評価項目一覧表」のとおり。

### 4.2 基礎点評価

別添「技術評価基準表」に示す〔評価の観点〕に沿って行い、要件を満たしている場合は、

4.1項に示す得点を配分し、満たしていない場合は、不合格とする。

### 4.3 加点評価

別添「技術評価基準表」に示す〔評価の観点〕に沿って行い、要件を満たす度合いに応じて、4.1項に示す得点を上限とし、配分する。

技術評価基準表  
 件名:プロジェクトマネジメント(PM)の制作及び投影

項目	細部項目	提案要求項目	番号	評価区分	評価の観点	基礎点	加点
1 事業実施主体の適正性	1.1 本事業全般(企画・構成・制作)を管理する体制	・本事業の受注業者として、各部門(企画・構成・制作)に取り組み体制が整っている。 ・投影に関し、不測の事態にも柔軟に対応できる技術者を設置できること。	(1)	必須	・各部門(企画・構成・制作)の管理・運務など、取り組む組織的な体制が整っているか。 ・不測事態が生じた場合にも、現場で対応できる技術者を配置できるか。	10	-
			(2)	必須	・緊急時における調整事項を含む連絡体制や作業態勢が確保されているか。	5	-
	1.2 映像コンテンツの品質を管理する体制	・官制との調整が迅速かつ容易に実施できる体制が整っている。	(3)	任意		-	5
			(4)	必須	・本企画のコンセプト等を理解し、企画に反映されているか。	5	-
	1.3 本事業実施に関する調整の容易性	・要望に基づき企画の提案及び修正等ができる。	(5)	必須	・官制の要望に沿った提案内容になっているか、また官制からの修正依頼にも速やかかつ柔軟に対応できる体制になっているか。	5	-
1.4 企画能力	・女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)、次世代法に基づく認定(くるみん、プラチナくるみん、トライくるみん認定)及び若者雇用促進法に基づく認定(コースエール認定)のいずれかを有している。	(6)	任意	・女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)、次世代法に基づく認定(くるみん、プラチナくるみん、トライくるみん認定)及び若者雇用促進法に基づく認定(コースエール認定)のいずれかを有しているか。	-	5	
2 構成及び演出	1.5 ワークライフバランス等の推進に関する指標	・過去の実績等から広報効果の高い演出が期待できること。	(7)	必須	・直近2年の受注件数。	10	-
			(8)	必須	・直近2年の採用されたPMのイベント規模。 ・航空自衛隊及び春日基地の任務を効果的にPRできる内容となっているか。(例:スクランブル発進の風景、ペトリオットの展開風景等 第3移動警戒隊の展開風景等) ・航空自衛隊及び春日基地の装備品(航空機、春日基地保有航空機、移動部隊等)がふんだんに使用されているか。 ・夏祭りを感ずる演出となっているか。	10	-
	2.1 PM用映像の制作及び仕様	・広報効果の高い構成や演出となっていることがわかる提案となっていること。	(8)	必須	・航空自衛隊及び春日基地の任務を効果的にPRできる内容となっているか。(例:スクランブル発進の風景、ペトリオットの展開風景等 第3移動警戒隊の展開風景等) ・航空自衛隊及び春日基地の装備品(航空機、春日基地保有航空機、移動部隊等)がふんだんに使用されているか。 ・夏祭りを感ずる演出となっているか。	10	-
			(8)	必須	・航空自衛隊及び春日基地の任務を効果的にPRできる内容となっているか。(例:スクランブル発進の風景、ペトリオットの展開風景等 第3移動警戒隊の展開風景等) ・航空自衛隊及び春日基地の装備品(航空機、春日基地保有航空機、移動部隊等)がふんだんに使用されているか。 ・夏祭りを感ずる演出となっているか。	10	-
			(8)	必須	・航空自衛隊及び春日基地の任務を効果的にPRできる内容となっているか。(例:スクランブル発進の風景、ペトリオットの展開風景等 第3移動警戒隊の展開風景等) ・航空自衛隊及び春日基地の装備品(航空機、春日基地保有航空機、移動部隊等)がふんだんに使用されているか。 ・夏祭りを感ずる演出となっているか。	10	-
		合計			70	30	